

●立岡佐智央の やあ、神戸っ子

KOBE★街かどの肖像シリーズ
〈12〉

『ビバ、親子』——△松村恭子さん・崇司くん▽——

子育てというのはいつの時代にも地球サイズのおおらかなプログラム。いのちからいのちへのぬくもりの伝えあい。そんな親子の世界にも異変が起りつつある昨今。育児が仕事か、ウーマン・リブvsキャリア・ウーマン、エエイ、肩に乗って出勤しちゃえ、というのがアグネス流子育ての巻であります。が、「幼ない子どもは仕事中のママかどうかを区別できないし、子どもの為にはチョット……」というのが育児のプロの声。松村恭子さんは保母歴16年という大ベテラン、灘区にある青谷愛児園(藤田有美子園長)に勤務(主任保母、現在我家でも崇司くん(3歳2カ月)の子育て真っ最中。松村さんご自身、崇司くんを別の保育園に預けてさらに「仕事も子育て」という奮闘ぶり。「多くの人に見守られて子どもが育つのはとても良いこと、でも仕事と子育てどちらも真剣にやろうと思えば一緒に、というのは無理じゃないかしら」と。保育園の門をへだて、仕事と育児(家庭)二つの世界を行き来しながら親子ともども葛藤をくぐり抜けて成長してゆくようです、と実感。「あくまでも量より質のふれ合いを」とつけ加える松村さん、今日は崇司くんもお母さんをつかり独占してご機嫌のようです。さあ、現代を生きる親子像を描こう——それはいかなる時代にも悠久の時の流れと安らぎを教え続けてくれる人間の永遠のテーマ。ビバ、親子。



贈って喜ばれる

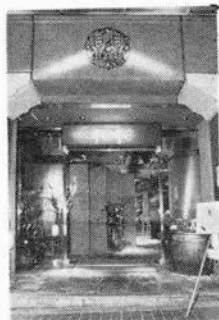
花見屋の浮世あられ

伝統の味、良質のもち米と醤油を使って、一枚一枚焼きあげた手焼きのおかきには、独特の菌ごたえと香ばしさがあ
る。日本茶で過ごすひととき、浮世あられをはじめ、花見屋のオリジナルをお楽しみ下さい。



花見屋

元町店・中央区元町通2-6-6
TEL (078) 331-0873 無休



■味の遊覧船①

トアロード

広東料理屋

「TEI TEI」(テイテ)

紅葉の山から海へ。トアロードの坂道を吹き降りる風がひんやりする日曜日の朝10時。食べ仲間の内田さん夫妻の車でトムキャンテの柿さんを誘って広東料理屋の「TEI TEI」(テイテ)へ、近

頃、うわさの「朝がゆ」を食べに出かけた。

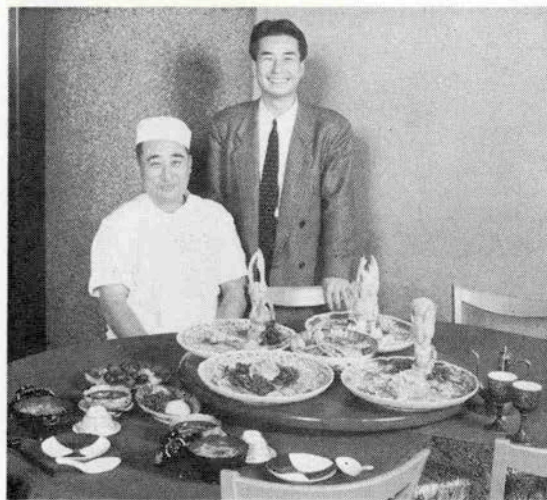
チャイニーレストランのマネージャーから一本立ちした郭范焯さんが、玄関前で出迎えてくれる。ごひいきの林隆三風のいい男だからなお嬉しい。

店内は本誌の11月号で紹介した杉本勇和次さんのトアロード三部作の一つ。東南アジア風というか無国籍な自由空間は、モダニズムとエキゾチシズムが、インテリアにも、食卓セットや器にも、音楽にも漂っている。

貝柱の風味がフツと香るおかゆ(¥300)は、さらりと心よく何杯もお代りできる。おかずは15品の中から(各¥250)好きな

ものを選べるから楽しい。朝からビールと老酒を飲んで、これがなければヘルシープランチなんやけど。

おすすめコース(¥3800~)を前に郭オーナーと夏料理長



翌日は、撮影をかねて夜のおすすめコース(¥3800~)をご馳走になった。郭さんのもてなしぶりには、自分が本当に食べたい味、本当に行きたい店を、自宅に友人を招く



エキゾチックな雰囲気のお店内

ようにという姿勢である。

中国の伝統プラス、郭さんと夏輝成料理長ほかスタッフの新しい感性が加った神戸スタイル。

味は品のいいあっさり目で、素材の良さを感じながら、ビュッテイフルに円卓を囲んで、神戸弁が飛び交う気楽さがいい。郭さんは「初めての一人歩きなのでよろしく」と謙虚。ランチタイム(¥1000から)にしろ、貸切り大パーティーにしろ予算も、メニューも何でも相談できる若い気易さと、すべてに頑張ってる男のツッパリがさわやか。

9月は河崎晃一、10月は梅岡みちこの作品展示があり、アートの発信基地としても立派な知的遊食空間である。(小泉美喜子)

●中央区下山手通3-11-17 露08(03)6888 営業時間AM11時30分~PM10時 日祝日AM10時~PM9時 ランチタイムAM11時30分~PM4時(平日のみ)月曜日休み

■味の遊覧船②
すこやかライフの
Tea & Cake

「グリーンノート」

元町2丁目のジェムビル3Fにあった「グリーンノート」が、賑やかに変わった南京町からも入れるB1に移ったのは、この秋のことである。

8年前にハーブティが飲める健康と美容にいい、すこやかライフのティー&ケーキの店としてオープンした頃は「ハーブ」ってなーんという感じだったが、山田佳子社長がヨーロッパの旅に出て、気

分がすぐれなかった時、ハーブティを飲んでさわやかに回復したことが、この店を開ききっかけだったのだ。彼女の経営する「レディササウナ」にしろ、自然と健康と美容というポリシーをしっかりと持ち続けて、売上げに左右されず、優しい心配りをさりげなく商品にも、店づくりに伺えるところがいかに神戸らしい。

インテリアは山田社長好みのナチュラルでジェントリーなデザインで、柔らかなガラス越しの陽光と、白い部屋に緑・みどり心地よく、ストレスの溜り切った私などはホッとする空間。藤椅子や白



自然の光がガラス越しにソフトな店内と、女性スタッフたち。



左よりツナサンド・グリーンピラフマジリュのミートスパゲティとハーブティとオリジナルケーキたち



手づくり薔薇のジャムとローズティのセット
そして手づくりのクッキー

いレースにハーブの花や緑が飾られたテーブルで、カミツレティ(¥450)を飲みながら、ハイ芽パンをこんがり焼いたツナサンド(¥600)などが大好き。

オープン当時から田原美恵子店長は「ミント、カミツレ、野いちご、レモングステイ(¥450)などは人気があって、近所のOLの方もここではハーブティをと固定客が多いんです。」グリーンピラフや、きのこのリゾット(各¥650)を作る料理の丸尾裕佳里さん。ローズティの花びらケーキやパブロア、ミントチョコケーキ、レモンムース(¥300)をつくる辻和子さんと、女性スタッフのハーモニイはとも感じがいい。時々焼くポテトとサツマイモとリンゴのサワーパイ(各¥350)には感激する。

プレセントにハーブティもいいし、津志本夫人の手づくりローズジャムとローズティのセット(¥

2800)は、最高にデリシヤス。
●神戸元町一番街ジェムビルF 302/18
08 営業時間AM10時30分～PM7時30分
(第1・第3水曜日休)

話題のひろば

◀IV▶

■第十一回美術家野球大会

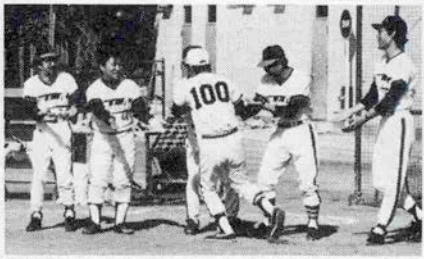
新世紀チーム

連続V

優勝 神戸市長杯 新世紀
準優勝 西宮市長杯 モダンアート



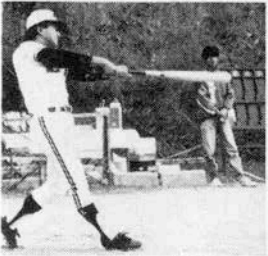
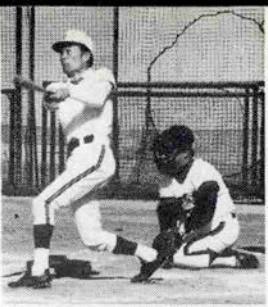
上 熱闘/美術家野球
下 打てるものなら打ってみろ



上 捕手は守りの要
中 ホームラン打者をナインで迎える
下 ベンチの期待も厚い



▲華麗なる打撃フォーム



▲華麗なる打撃フォーム

白球を追って

知念正文 (神戸二紀ゴルフェン・アームズ監督)

年に一度の美術家野球大会。回を重ねること11回、今年も関西一円から、野球にはちよっとうるさい面々が西宮市に集まった。

行動美術、モダンアート、神戸新聞社、神戸芸術学林、神戸二紀に一昨年から新世紀が加わって6チームだが、昨年は新世紀に優勝をさらわれ、老舗のチームをカッカさせている。

今年は北山球場、夙川学院グラウンドの二会場で同時にゲームが開かれた。

一回戦はV2を狙う新世紀が神戸芸術学林を9-6で仕とめれば、片やモダンアートは神戸新聞を5-1で破った。二回戦は勢いによる新世紀が5-4で行動美術にサヨナラ勝ちをおさめ、又、我が神戸二紀はモダンアートに4-3で惜敗した。いずれの試合も實力伯仲の好試合だった。

決勝は新世紀とモダンアートで争われた。いずれも二試合を勝ち抜き、この日三度目の試合である。

ゲームは北山球場で大観衆の前に白熱し、投打に勝る新世紀が昨年が続いて二度目の優勝を果たした。新世紀の強さには目を見張るばかりである。当分天下が続く



上 扇上げされる気分は最高
中 閉会式の様子

下 大会委員長の佐藤廉さんからトロフィーの授与

上 優勝を争った新世紀の山下投手とモダンアートの竹内投手
中 優勝した新世紀チームのさわやかな笑顔

中右 ベンチの応援にも熱がこもる

▲エキサイティングなプレーの連続

- ★歴代優勝チーム
- 第1回 神戸二紀
- 第2回 モダンアート
- 第3回 神戸芸術学林
- 第4回 行動美術
- 第5回 行動美術
- 第6回 行動美術
- 第7回 神戸二紀
- 第8回 神戸二紀
- 第9回 神戸芸術学林
- 第10回 新世紀
- 第11回 新世紀

そんな気配である。
 思えばこの大会は昭和53年、佐藤廉（元町画廊）大会委員長の肝入りで「月刊神戸っ子」の主催で火ぶたを切って以来早や11年、第一回大会で始球式をして頂いた檜崎兵庫県立近代美術館館長も今は亡い。大会副委員長だった鴨居玲氏、我がチームの主将だった山田憲三氏も相次いでこの世を去ってしまった。11年の歴史の重さを改めて感じる。
 芸術家として体が資本、体力作りにはスポーツが一番、そんな単純な動機で始まったこの大会、年々若い世代が増え、どうやら新旧交代の時期にはいつてきたよう

★神戸の集いから

★継続は力なり・

★一回APPS展開催

「三人程で絵を描こうと言っていたら、いつの間にか現在の21名になつてしまった」とAPS校長の藤川由雄さん。中西勝画伯が名付親である、このAPPS (ART POOL SOCIETY) の第一回作品展が10/18より5日間にわたって京町ギャラリーで開かれた。「目立ちたがりやが揃って今回の作品展に至った訳です」と謙遜しながらも、過去三年間毎月2回の例会を続けてきたその成果は実に見事であり、作品と共にメンバー各々の自画像が展示されている点がユニーク。まさに、継続は力なりである。



中西勝画伯をかこんで

★留学生たち招待し

ルミナス神戸で「雅」の宴

三宮のスナック雅子さんの落合健・雅子さん夫妻が、十



日杵さんと留学生たち、落合夫妻(右)

月二十四日六時半からルミナス神戸で大阪湾をめぐる船上パーティを開催。約五百人が参加し、雨の中をバラエティに富んだプログラムが催された。当日は国連デーとあって、日杵百合子さんのジョイントで、中国、東南アジア、フランス等の留学生約十二名が招待され、国連大使から感謝のメッセージが到着し、御影貿易の森社長から披露。ハワイアンバンドあり、カラオケコーナーあり、北野アロージャズバンドで今

井啓介(今啓、パール社長)さんの雅子音頭の唄ありで、

神戸港へ九時半に帰港。小さなスナックのでっかいパーティは健さんらしくかった。チャリティの一部は神戸大学国際交流センター(平井一正所長)神戸商大留学生会に寄附。

★「ポニータ」でアルファー会

灘ライオンズクラブの中でグルマンが集う「アルファー会」(藤堂省吾会長)が、久々に甲南女子大の指定レストランである本山の「ポニータ」で十月二十七日に開かれた。「ポニータ」は精養軒の出店とあって、おしゃやかな西洋懐石。三洋化工の田中社長夫妻、精養軒の押田社長夫妻、テンポラ



アルファー会の面々

リーセンター・吉岡神戸支社長らの約二十名が顔合せ、ポニータの味を楽しんだ。

★北野で
ハローウィンパーティー
国際都市神戸で、お洒落に英語をマスターしよう、と、ディーシーエイチとインホームーションハウスが主催する「グルメ英会話レッスン」が10月27日に北野坂のフロマージュ・クロで行なわれた。食事を楽しみながら、マナーやパーティ、ジョークなど本物の英語を学ぼうと集ったアメリカ人教師やグルメ好きのOLら30名は、ハローウィンも近いとあって仮装、ホラー・ラフコンテストに大いに盛りあがった。



It's a party time

Exhibition of Modern Art From New York

Part II

1988, 12/17 (Sat)

↓

12/25 (Sun)

AM 10:00~PM 7:00 (最終日は PM 5:00)

サムフランシス / カッツ / ジェンキンス
・ トビアス / ジャブロンスキー / エリック
クオー / ロトロート・ジャスパー・ジョ
ーンズ・デューニング・レオパレンダー / ウ
ォーホル・池田満寿夫・アルバース /
ラウシェンバーク・ヘイワード・コール
・ベンベンソン・コアニャール 他



135

 KIBUNDO GALLERY

〒650 神戸市中央区元町通3-5-10
TEL. (078)331-2467 FAX.(078)331-1664



SAM FRANCIS "Poems dans le ciel"

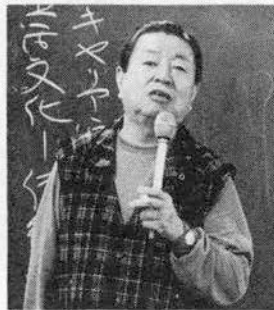
K.F.S. NEWS 142

●10月のファッション公開講座

伝統的な生活文化から流行が

講師 立亀 長三氏 <ナクトアトリエ社長>

恒例の秋のファッション公開講座は、京阪神ファッションマンス参加行事ということもあって、京都や大阪等からも多数の参加者を集めた。さて、今回の立亀氏のレポートは…。「世界的に経済不安定な時代を迎えています。こんな状況ではどんな商品を置くかということ、売れ筋しか置かないのです。但し、この売れ筋とは日本で言うのとは、少し意味が異なり、消費者が生活の質的向上ができるものを言います。去年と今年と、ちょっとデザインが違っただけで消費者は買います。例えば、リボン、ししゅう、レース、花飾り、アップリケ等で新しさを出すわけですね。いずれも伝統的な生活文化が伺える手法です。今年リ



弁舌冴える立亀氏

バイバルで登場していますが、それも、伝統文化に裏打ちされているからこそ消費者に受け入れられるのです。

消費者の中でも一番の買い手となるのはキャリアウーマンです。だから、勤務着についての勉強が必要です。19世紀イギリスで起こった産業革命は、イギリスの服装史に大きな影響をもたらしました。生産過剰を解決するためにそれまで軍人だった人々が、反物を持ってヨーロッパ中を回ったのです。アパレルのサラリーマンの始まりですね。彼等の勤務着が、ポケットのたくさんついた背広だったのです。キャリアウーマンの服が、背広を様々に変型させたものですが、今年の流行を知る上で、服装史、特にこの勤務着の歴史を学ぶことがどれだけ重要か、お分かりいただけると思います。

勤務着は男性をターゲットにすることから始まったのですが、今度は女性。16世紀ルネッサンス、17世紀バロック、18世紀ロココ、19世紀産業革命。王朝貴族の女性が着飾った伝統的な手法、リボン、ししゅう等が、今年

は登場しているのです。シンプルな型のセーターにボタン、上着にアップリケ等。エレガント傾向はパンツスタイルにも影響を与えて、ブリーツをたくさんとったズボンが出ています。

さて、来年ですが、天地創造の色が主流です。マグマ、太陽、水辺の色。又、土器の色、虹の色。スタイルは環境別にデザインされます。勤務着、アウトドアでの服装等、それぞれの目的に応じた服。男性もそうです。又、女性にはよりエレガンスが求められています。ズボンをはいてもどことなくエレガンスが感じられるような服です。

私達が消費者に服の提供をする場合、いろいろな所からの情報を取り入れなければならないと思います。」

●今年も KFS の X'mas で!



昨年のパーティーから

日時 12月23

日(金) 6:30p.m.~

会場 三宮東急イン

(TLE291-0109)

会費 8,000円

※今年は15周年記念パーティです。多数ご参加ください。

先月号のマンスリーサロンで、福富氏が大阪の堂ビル洋裁学院に通ったとしましたのは誤りでした。訂正とお詫びを申し上げます。

ご宴会なら…



ゆったり ゆとりの300席

ご宴会やグループのお客様に個室
お座敷50~60名様までのお部屋を
ご用意致しております。

ご予算・料理内容…

お気軽にご相談下さい。

席料・サービス料は無料です。

寄せ鍋コース¥2,800 うどんすきコース¥3,000
しゃぶしゃぶコース¥3,800…etc
コースも豊富に用意しています。

ニュー・ト・キョー

飲み処・お食事処 **庄屋**

神戸・三宮・さんちか (11時より10時まで)
電話 391-5069 係◆小林・中井



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。杜氏の出身地、兵庫県丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸時代宝暦年間における記録が残されているほど。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。

兵庫県氷上郡市島町中竹田 合名会社 西山酒造場 ☎07958(6)0331



但馬は、兵庫県北部地方に位置し、冬季は山里で2メートルの積雪をみることもまれではありません。現在約2000人の季節酒造工が全国の酒造場で日本酒の生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、労働大臣賞を受賞した名杜氏です。

兵庫県城崎郡香住町森 香住酒造有限公司 ☎07963(6)0029



〔社団法人家庭養護
促進協会事務局長〕
橋本 明



サルビア・デイホームの試み

「託老所」で命の洗濯をするお年寄りたち

通称「サルビア・デイホーム」、正式には「神戸市立長田在宅福祉センター」が神戸市では初めての老人のためのデイサービス施設として誕生したのが昨年の七月だった。長田区の花がサルビアなのでその名をとったこのデイホームは開設以来人気上々で各地からの見学者も絶えない。

私が訪れたのは10月の中旬だった。JR、および市営地下鉄の新長田駅から歩いて5分程の国道2号線沿いにあり、周りには商店街もあり、立地条件がよい。このセンターの場所には以前協同病院があったが、昭和53年に移転して以来空き地になっていた。「ここに多目的施設を建ててほしい」と自治会や住民たちが神戸市に要望していたのが、デイホームとして実現したのである。

この地域は震災をまぬがれた家が多く、長田区でも一人暮らし老人や高齢者世帯が一番多い地域で、それだけデイサービスの必要性が高い所でもあった。

さて、ここではどんな人たちのためにどのよう

なサービスが行なわれているのだろうか。

まず利用できる人は「長田区またはその周辺の住民で、65歳以上の虚弱または軽度の痴呆であるお年寄り」となっている。定員は約一五〇人を登録し、そのうち一日15人ずつ、一人が週一回利用できる。毎日のスケジュールは、センターからマイクロボスが朝9時に出発し、老人を迎えに行く。10時に到着するとまず看護婦による血圧測定などの健康チェックをし、そのあと健康体操、ボール遊び、カラオケなどのレクリエーションを通しての日常動作訓練をする。お昼には給食が出る。午後には介助浴室、特殊浴槽で入浴し、三時半に帰りのバスが出発する。利用料は一回六百円だが、一部免除の制度もある。この他にここでは毎週水曜日には市内のねたきり老人のための入浴サービスも行っている。こちらは午前4人、午後4人の一日計八人で、利用料は一回千円である。九月末における実利用者数66人のうち、自分で歩ける人は11人、一人でお風呂に入れる人はわずか一人、衣服



上・週1回顔を合わせ、元気な姿を喜びあう
下・マイクロバスでの毎日の送迎

の着脱を自分でできる人は15人で、大半のお年寄りが介助を必要としている。また痴呆の老人は約三分割で、登録者の年齢は75歳以上が七割を越えている。数字から見てもこのセンターを利用するお年寄りの介護がいかにも大変かが想像されるが、そのお年寄りたちを毎日看ている家族の苦勞もまた大変なものであろう。週に一日でも家族がその苦勞から解放され、ホッと息抜きができる時間をつくることもこのセンターの役割の一つでもある。

お年寄りにとってもその家族にとってもこのセンターは週に一度「命の洗濯」ができる場所であり、ここに来る日を楽しみな心待ちにしている。当初の計画では一人六カ月以内の利用と考えていたが、「せっかくなかなか仲間ができて、楽しみが増えたのに六カ月で打ち切られてしまうのは残念で仕方ない」と思うお年寄りやその家族ら91人の署名入りの嘆願書が今年一月初めにセンターに届いた。職員会議でいろいろ検討し、悩んだ末、今は六カ月以内という条件は削除している。が、収容能力に限度が

一面嬉しい誤算ともなったようだが、裏返せばそれだけ今の福祉サービスが貧弱なものとも受けとれよう。長田区だけでも日常生活の一部でも介助の必要な老人は約三千七百人と推定され、このホームを利用できる老人は利用対象者のわずか五割にすぎない。神戸市では同様のセンターを63年度は兵庫区に建設中で、そのあと灘区にも建設をすすめ、一区一施設を目標にしている。

託児所ならぬ託老所は思わぬ繁盛ぶりだが、老人にとって週一回の入浴が何よりの楽しみ、というのはいまにもささやかすぎはしまいか。あとの週六日も楽しい日々であるようにすることを忘れてはならないだろう。そのためには、このサルビア・デイホームの試みを早く全市にきめ細かく広げてほしいものである。

☆サルビア・デイホーム
神戸市長田区腕塚町二丁目一ノ三
電話(〇七八)六二一(二〇一五代)



健康体操などの日常動作訓練

あり、待機者もいるだけにこれからどうしていけばよいかが職員にとっては頭の痛い課題となっている。

神戸市ではじめてのデイサービスの試みは

★出会いの旅

砂漠の虹



岡田 美代

△舞台演出・プロデューサー▽

10月5日

右手に天山山脈を見ながら、マイクロバスを走らせ全長三千キロの天山山脈は、日本列島がすっぽり入る大きさである。

峰々はただ一本の草木もない荒涼とした土塊の連続である。そして妙に白っぽい山肌は、ときどき怪しい亀裂や凹凸をみせて、道路に迫ったり遠のいたりしながら延々と続いていく。山に沿って、一本だけ走る道路の南側は、果てしない砂漠の広がりである。何十分走ったかどうか、道の向うに変化が見えてくる。ポプラ並木だ。砂漠がとぎれてポプラ並木へ車が入ると、そこはオアシス。砂だらけの中で、小さなバザール(市場)があり、人々が群れている。ほとんどがウイグル族。男は帽子をかぶり、女達はスカートを巻いている。主として赤を基調に、金の糸かざりなどのある薄い絹のスカートを。化粧の無いつややかな顔に、人なつっこい瞳が美しい。ここは海拔九百米余り。六甲山上とほぼ同じ高さ。ところが昨日訪ねたトルファン盆地は、マイナス百五十米の低さ。故に人々は「世界のヘソ」と呼んでいる。そういうえば、このタクラマカン砂漠のいたるところに天然の塩が吹き出しているのを見かけた。塩湖もある。ここは気の遠くなるほどの昔、海底であったのか…。

オアシスを出て、突然、道の左手に龍巻があがる。一カ所ではない。つぎつぎ並んで数カ所が白い砂を天に吹

き上げている。瞬時にして今度は右手に大きな龍巻があがる。車を走らせている道路の上にも…。私は、このシルクロードの旅で、合計二百を越す龍巻を見ることになった。

10月6日

小雨が降っている。ここはクチャ。

昨日コルラをたつて此処に着いたときは、ウルムチから天山を砂煙りをあげて縦断してきた行程より、よほど楽な旅になったと思った。実際、あの天山越えはすごかった。曲がりくねった砂礫の道を、まっ白な砂煙りをあげて、あえぎながら越えていく車たちで、視界はまったく白一色に閉ざされてしまっていた。鼻にも口にも目にも、容赦なく砂が入ってくる。私は、砂に匂いのあるのを知らされた。クチャの町は、天山南路のほぼまん中。タリム盆地の北にある。この町に雨が降るのは珍しいことであるという。「あなた達は良い天気に来た。」と、案内人が言う。殆ど雨を見ないこの町では、雨降りが良い天気になるというのだ。

その小雨の中を、キジル千仏洞へいそぐ。途中、雨は止み、ぬれた砂漠にラクダの群れがいるのと出逢う。雨で流された道を、シヨベルを使って埋めながら、やっとの思いで千仏洞へ着く。

ここは、崖に穿たれた裸の仏洞群で形成されている。あきれるほど高い梯子を上下し、足もとがふらつく。仏

洞は、32洞・34洞・38洞・42洞・47洞と続いているが、その他の洞はうかがうすべもない場所にある。いずれもすでに塑像はなく、廢墟の洞窟の中は、涅槃仏の画が申しわけのごとく残っているのみ。3世紀から盛唐時代へかけて、深い信仰の場があったというが、夢のまた夢という現況である。

この飛天はインド風である。あらわな肢体に薄い布をなびかせて飛翔している。

雨で、いずれは流されてしまいそうな崖っぷちの仏の城。やがて修復か、やがて消滅か、(30人程で管理しているというが)、不明である。

帰路、砂漠の虹を見る。

■10月10日

地平から地平へ、もう何百キロ走っただろうか。今は全く高度差のない、まっ平らの砂のひろがり割って、まっすぐに伸びる一本道をひた走っている。約2時間走って、トイレ休憩をとる。砂漠の中の天然トイレ。砂の上に降り立ってみると、足裏にまるで生れたての赤ん坊のように柔かく暖かみのある反応が伝わってくる。

る。砂は、私の体重を乗せて、素直にバウンドしながらちよつと沈んでくれる。しかしバウンドの下は、しつかりとした大地の核がある。真昼の太陽に照らされて、砂漠は死んでいるのか、風の音一つしない。

■10月13日

敦煌との再会。八年前にはじめてこの地を訪ねたときと、全く様相を変えてしまった敦煌。コンクリートの新しい賓館(ホテル)が建ち並び、道路は美しく広げられ、商店街も立派に街並みを作っている。

その間を縫って、見覚えのある道を急いだ。ポプラ並木が左右から迫る細い道。その並木の尽きるところに、なだらかな起伏を見せて鳴沙山が……見えた。

ラクダに乗って鳴沙山の麓の月牙泉へ向かう。夕闇がせまってくる。まもなく月夜になるだろう。月の砂漠を、はるばると……ラクダの背で私が歌うと馬丁(?)の中国青年がふりかえってにっこり笑った。明日は、あの莫高窟の仏さまたちと再会する。そして私のシルクロードの旅は、まだ続いている。



▲(上)敦煌の莫高窟前の筆者。(中)クチャ郊外の道端のバザール。(下)敦煌・鳴沙山のラクダ。

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



NEWS

★「ロドニー賞」誕生

風月堂の相談役・吉川冬季子さんの呼びかけによって作られた「ロドニー賞」の第一回授賞式が11月5日風月堂ホールにて行われた



喜びの元さん(左)

神戸の街をおもしろくした人に市民レベルで表彰をという目的で創設され、選考委員も代表の陳舜臣氏以外は、一般市民によるもの。受賞者の元正章さんは永年にわたり六甲の街づくりを進めてきており、「これからも一日一日精一杯やっています。」と感慨深げだった。

NEWS

★はじめましての

シュークリーム

来年3月に40周年を迎える洋画子のヒロタから、おしゃれな2層シュークリーム「ツインフレッシュ」(1パック4個入り200円)がデビュー。



おいしい胸さわぎ

新鮮なカスタードクリームと生クリームの2層構造のこのシュークリーム。ひとくちはおぼると、カスタードと生クリームが口いっぱいにとろけて、つい手が出てしまうおいしさ。

今までのレギュラータイプもさらにリフレッシュして、おいしさひとしお、スイートなおひとときをお楽しみ下さい。

NEWS

★本格派の品種ワイン

「ルヴァン」

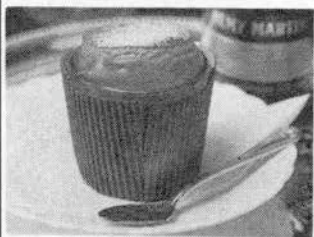
ぶどうの個性が息づいている、味わい深い本物のワインを気軽により多くの方々に楽しんでほしい。アサヒビールは、この基本理念を誠実に守り、追求してきました。十一月十六日新発売の「ルヴァン」は、単一ぶどう品種名を名のる高品質のワイン。国内及び海外から原料を選びぬき、最新設備を備えたワイナリーで日本人の味覚に合うように仕上げられています。フルーティなリースリン

NEWS

★寒い日には、熱つあつの

「スフレ」

モロゾフから、またひとつ素敵なデザートが生まれました。ハル・スフレV。ヨーロッパでは古くから親しまれ、愛されてきたデザート



おうちで焼いて召しあがれ

グ、ドライなシャルドネ、おだやかな酸味の甲州、しっかりした味のカベルネ・ソーヴィニオン、まろやかなマスカット、各七二〇ml入り一〇〇〇円。
本物ならではの味わいを、お気軽にお楽しみ下さい。



選りすぐりの味を

菓子。「スフレ」は、フランス語で「ふくらませた」を意味し、その名の通り、オーブンで7、8分焼くと、フワッとふくれる。そのままにしておくとすぐにしぼんでしまうので熱つあつところを、す速くどうぞ。

それぞれの特徴を生かしたボテイロン、シヨコラ、フロマージュ、パニユ、マロン、オレンジジュの6つの味。

寒い夜の楽しいデザートタイムに、熱つあつのスフレはいかがですか？

■ル・スフレ(6種) 各450円
3個入(1500円) 6個入(3000円) 8個入(4000円) 10個入(5000円)



●やっぱりケーキより和菓子です

海田真由美さん<本高砂屋オーパ店長>

明るいオレンジ色の制服に合わせたような笑顔が可愛い海田さん。店長というよりも、看板娘といったほうがピッタリを感じるのが、「新しい場所で、店長というポストを任せられ、やりがいがあります。」と、さすがにしっかり者の答えが返ってきた。夜も遅くまで営業しているオーパだけに勤務時間も不規則だが、若さで乗りきる毎日のよう。



PARTY

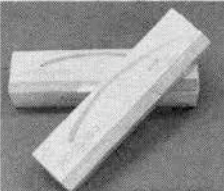
●美女と真珠と

「89ミスユニバース日本代表を励ます会」が去る10月28日、ポートピアホテルにて行われた。

これはユニバースの王冠を田崎真珠が製作している縁で開かれたもので代表の田代絵里さん（北海道）、準ミスの前出房子さん（兵庫）、岩崎三奈生さん（鹿児島）の三人の美女を前に、集まった神戸の経済人たちも終始笑顔で、なごやかなムード。

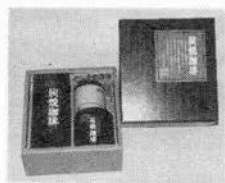
選出された際に授与された大粒の真珠のネックレスをした三人も、「真珠は日本の美をイメージする宝石。ひかえめだけれど輝いていますよね」とパールシテイならではの励ます会となった。

PRESENT CORNER



応募方法 ● 葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町11-1大神ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係までご応募下さい。12月末日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を送送、葉書を持って神戸っ子までプレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

●洋菓子のヒロタより
シュークリームを
ツインフレッシュの発売を記念して、さらにフレッシュアップしたカスタード、チョコレート、ヨーグルト、モカとの詰めあわせを抽選で20名様にプレゼントいたします。ハガキに住所・氏名・年齢を明記の上、12月20日迄にお申込み下さい。



●UCC上島コーヒーより
炭焼珈琲のセットを
日本伝統の炭火焙煎法により時間をかけ、丹念に炒りあげた炭焼珈琲。良質の珈琲豆の風味に、炭火ならではの深いコク味に、加わった味を堪能して下さい。今回はこの炭焼珈琲2缶（ブルーマウンテン・モカブレンド）をセットにして5名様に。

TOPICS

●ファッションパーク三愛のリフレッシュを記念して10月29日、オーブニングイベントが開催された。

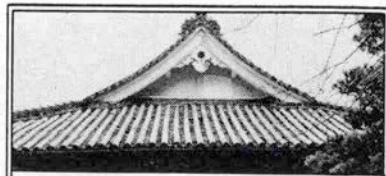
ゴンザレス三上、チチ松村の二人によるミニ・コンサートのや、ルーレット、ビンゴゲームなどが行われ、若い熱気があふれた。



に包まれた一日となった。
●ドンクからクリスマス商品のお知らせ。クリスマスケーキ・2500円から、夢いっばいのデコレーションケーキは1700円から、それぞれホワイトクリームとチョコレートクリーム2種類。ちゅーコロポポー（チョコレートケーキ）1700円、シュートレン（フルーツをいれて焼きあげたドイツの伝統菓子）1500円、800円。パネト1ネ・2000円。楽しいクリスマスをどうぞ。
●ポートピアホテル・アラランシャベルからクリスマスメニュー。12月17日・18日の9日間にはわたって現代フランス料理の最高峰、アラランシャベルのクリスマス料理をお楽しみ下さい。

和菓の...

第二...



湯の街

有馬歳時記

★有馬の女将さんを訪ねて

御所坊

金井 公子さん



旅館正面玄関をバックに

文豪・谷崎潤一郎の作品「猫と庄造と二人のおんな」に「御所坊」にふれた一節がある。少し長いが引用してみよう。

「それは二人が人目を忍ぶ仲になり出して間もない時分、或る日滝道の終点で落ち合い、神有電車で有馬へ行って、御所の坊の二階座敷で半日ばかり遊んで暮らしたことがあったが、涼しい溪川の音を聞きながら、ビールを飲んで寝たり起きたりして過ごした、楽しかった夏の日のことを、二人とも

はつきり思い出した。

「そしたら、又御所の坊の二階にしようか。」

「夏より今の方がええで。紅葉見て、温泉に這入って、ゆつくり晩の御飯食べ、——」

「そうしよう、そうしよう、もうそれにきめたわ。」(新潮文庫より)

谷崎潤一郎のみならず、吉川英治、

伊藤博文なども好んで利用したという

御所坊、往時を偲ばせる風情が今も残

る。木造りの三階建て、その静かな佇

まいの中で女将さんが迎えてくれた。

金井公子さん、三三歳。一五代目の

御主人、啓修さんとは同い年。大学時

代に知りあって、八年前に嫁いで来

た。旅館の女将にはめずらしいのでは

なからうか、御主人とは恋愛結婚だと

いう。「結婚前にはまわりが、たいへ

んだ」「たいへんだ」と言うから、「苦

労するだろうな」と覚悟してたんです

けどみなさんいい人ばかりで本当に助

かっています。」とても小学二年生と五

歳、二人のお子さんがいるとは思えな

い若やいだ潑刺とした話振りだ。

「子育てに追われてましたので、女将

と言っても本当に駆け出しなんです

よ。「女将さんノ」と声をかけられても

自分では気がつかないくらい。だか

ら、ほんとの苦しさもまだまだわかっ

てない。とにかくこれからどんどん経

験を積んでゆきたいですね。」

御所坊の創業は一九一一年。八百年

の歴史を誇る。その伝統を守り引き継

自然の恵みを

湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

欽山は典雅な

日本風の館です

国際観光旅館



欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧き出る
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と芸芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291



くことの厳しさも並々ではなからう。特にここ数年、有馬を取り巻く環境が様変わりして来た。まわりが日毎にベツタウン化し、交通の便がよくなるにつれ、食事のみ或いはお風呂のみを目的にやって来る日帰り客が増えて来た。利用客のこうした嗜好の変化が受け入れ側にもサービスの多様化を迫る。御所坊では去年、浴場を大改装した。それまでであった大浴場、家族風呂をなくし、男風呂、女風呂を同じ大きさにした。女性客の増加をねらってか、むしろ女風呂の方が雰囲気の良い仕上がりになっているという。取材をしたこの日も丁度、庭の工事の真最中であった。客室二七室、収容百名の基本的な規模こそ変わらないが、喫茶コーナーを九〇種の吟醸酒を揃えたショットバーに、会議室をサロンに変え、或いは食事、会合用に観山・観水・観

雲と名づけた三タイプの部屋を新設した。旅館業の他にもテニスクラブ、喫茶店、みやげもの・食事処等を経営し、利用客の多彩なニーズに応えている。「すごく古風だけれど、新しいものずき、それが創業以来、御所坊の特質だと思うんです。」と女将さん、「古くても良いものは残してゆき、時代にあわない部分を新しくする、そういう姿勢が必要なのかも。」と明るく語る。大学時代は国文科に在籍していたという公子さん。絵を描くのも好きで、童話作家にもなれば、「などと考えていたそうだが、今は畑ちがいの旅館業に励む。」「とにかく、一所懸命にできる限りのことをする、それだけです。あとは、みんなが気持ちよく働ける場を作ってゆけたら。」と抱負を語ってくれた。りっぱな女将となるために、これから長いドラマが始まる。

雅ただようくつろぎの館

中の坊 瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

静寂さにつつまれた

くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

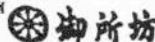
TELEX 5627-115

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う



TEL (078) 903-1024

本造りの宿

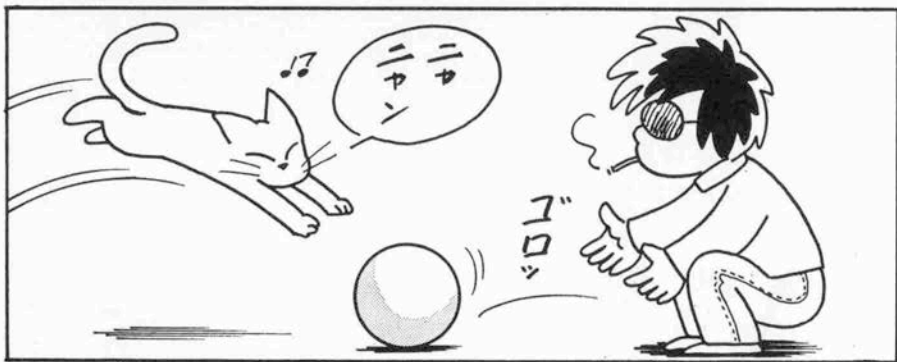
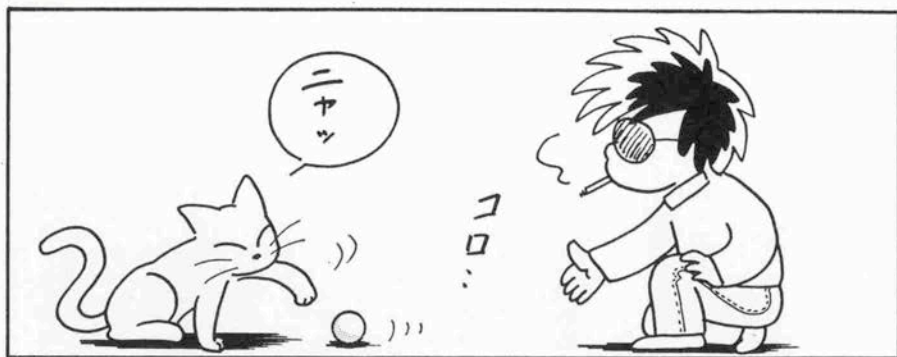


TEL (078) 904-0551

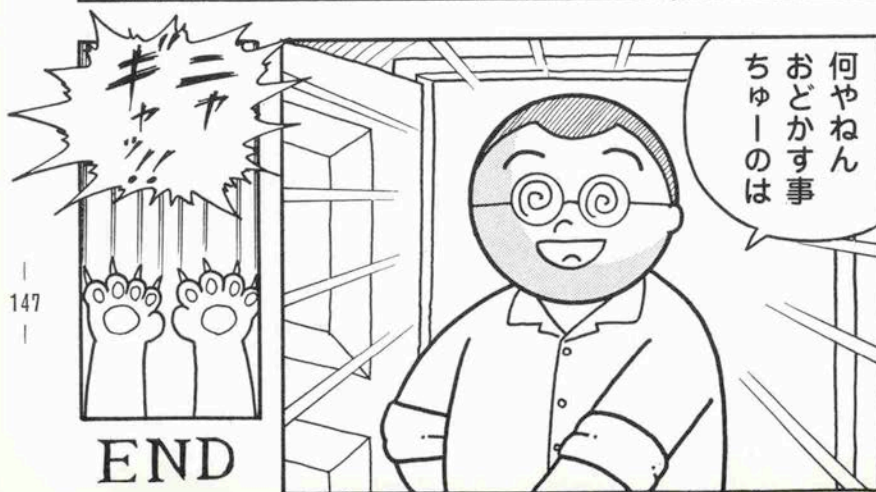
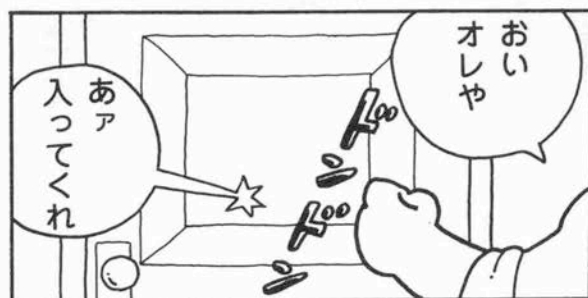
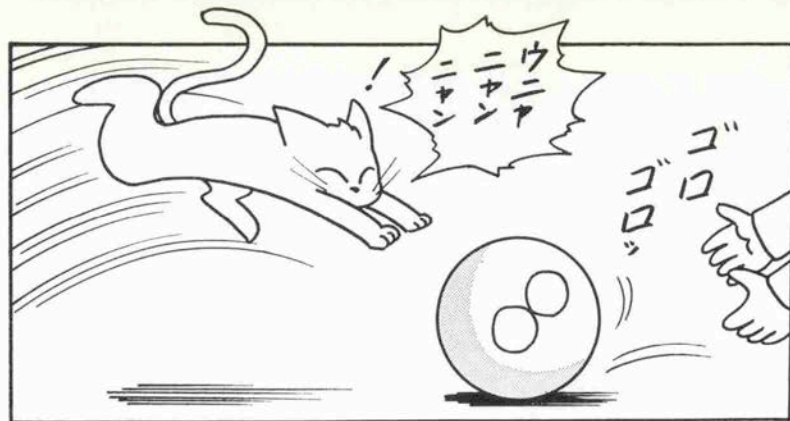
●れんさい競作リレー漫画 ①

猫じゃらし「球の計略」

ラッキー植松



THE TRICK OF Q



END